令和 2 年 3 月 13 日
ゆ た か 幼 稚 園
園 長　　岡 村　　豊

令和元年度　ゆたかこども園

「自己点検、自己評価」、及び「学校関係者評価」の実施結果報告について

当園は、国の方針にそって「学校評価」を実施しています。

また、「子ども達の為に指導を充実し、地域から信頼される運営を図る為」、学校評価を実行しています。学校評価では、教師一人一人が人間的にも、保育技術向上の為にも、自己点検をします。

教師が努力した点として、自己点検、自己評価と、学校関係者評価について掲載します。文科省の方針通り“教師とこども園の資質の向上”にがんばっていることを御報告いたします。

ゆたかこども園は、昭和４３年４月に“地域の幼稚園教育をよりよいものにしたいと夢をもって、現理事長・園長がゆたか幼稚園を開園し、本年で 52 年目です。令和元年度末で 5,445 人の卒園生を送り出しています。

地域の幼稚園教育を他にない よりよい教育にするという幼児教育の内容に夢をかけ、学園の運営と幼児教育の指導内容に専念しています。

今後も子どもの夢と運営の責任を双肩に、信頼を得られるよう教育の質の向上を図り、地域から選ばれるこども園として努力いたしますのでどうぞよろしくお願いいたします。

―本園の教育内容は―

① モンテッソーリ教育理論による、異年齢教育をしています。
② “義務教育への基礎を培うため”発達段階に応じた年齢別指導をしています。
③ モンテッソーリ教育「モンテッソーリ教具」による指導内容で、言語教材・数教材・感覚教材など、知的発達の充実を図っています。
④ 生活教育、躾の指導、体育遊び、リズム教育、食育活動、ゆたかこども園ならではの教育方法が充実しています。

他園にない、きめ細かい教材教具と設備で、子どもが大切な幼児期を過ごしているので、一人一人が大変よく育っています。以下の通り、報告いたします。

令和元年度　　ゆたかこども園　　教職員　自己点検　総括

	評価目標	内容	総括
1	保育技術の向上	①研修会に積極的に参加する②レポート提出し、園内研修で伝達交流し技術を身につける③新任は指導内容を先輩の先生のようにレベルアップする④園全体が意思統一をする⑤専門リーダーが情報を伝達・指導を検討し導入する。 ①障がい児とみられる園児一人一人の違いに添った障がい児理解を深める②研修会に学ぶ。③出来たところを認め保護者と喜びを分かちあう。 ①四季に合った庭花を植えたり種をまいたり子供と共に育てる。②草抜きをする。③収穫をした夏野菜を食べ偏食に役立てる。 ①自主的に研修に参加する。②保育に導入する曲や振り付けを考え選曲する③合唱曲(童謡)をつくる(階名唱の作成)発表会の演奏の曲を考える。④階名唱の楽譜を新しく作成する。 ①集合や自発時間に昔話や名作を読む。②図書館から借りて読む。③皆の前で音読させる。④絵本を好きな子にする。 ①未満児の手遊びやふれあい遊びの研修を受けレパートリーを増やす発達にあった助言法を学ぶ。 ①集合のテーマ、内容を選ぶ。②話しかけや集中力を育て、話法を身につける。③個性にあった助育をする。 ①教師は目離しせず子どもの側に居る。②園庭遊びルール(職員指導ルール)により指導する。③事故未然に防ぐ。 ①アレルギーの研修をうける。②アレルギーの種類により、食事法を各担任に共有。 ①楽しく参加できる安田式体育遊びをする②運動力は自主的に運動する事で共感性、機能性を育む ①モンテッソーリ教育コースに通い読む・話す・書く・発言力・数量・指導法・生活教育・感覚教育の指導法をレベルアップする。 ①音読、思いを話す事ができることを育む。②相手への会話力を育てる。③思いや考えをききとる。 ①感染症の予防法、対策を保護者に発信する。②救急法の新しい方法を学ぶ。③保健だよりを出していく。 ①農園の稲作、芋畑、玉ねぎ、枝豆、カボチャなど作付け収穫作業をする。②畑作りをする。③農園への往復する子どもの誘導。 ①　車の不具合の事前管理。②始業前燃料エンジン点検。③車両清掃。	教育技術の向上 ・園内研修で、危機管理の対応、安全マニュアルの研修をし、職員の意思統一を図ったので安全に対する意識ができた。 ・語彙を増やしたり、数教育の教材で言語、数教育を充実した。 ・未満児にあった遊びや歌、楽器、お話の教材を研修で学び取り入れられた。 ・モンテッソーリ教育の書籍を読み指導を深めた。 ・モンテッソーリ教育のコースに入り、生活、言語、数、感覚教育をレポートにまとめた。 ・障がい児への理解を深める為、テレビや本からの情報をしっかり学ぶように心がけた。 ・救急救命園内講習に参加し、ひやりはっと　を繰り返さない様に助言を怠らず保育した。 ・ホタテ、いか、餅をつまらさないよう強く頼まれていたので必ず除いていけた。 ・数や文字が分かるようになり教具で遊ぶとカルタ遊びも毎日して楽しくなり、できないことがよくできるようになった。 ・研修会に積極的に参加して園に戻り園内研修でポイントを復習できた。 ・キャリアアップ研修参加や各研修参加毎にレポート記録を提出し、伝達講習に努め、自己の研修記録集（アルバム）にまとめた。 ・モンテッソーリ教育については伝達交流で重要点を再確認できた。 ・安田式体育は腕、足、筋肉を鍛えるので安田式総合遊具やリレー、ゲーム、体育保育など運動面の指導方法を大変取り入れたので充実した。 ・体育参観では足、腕、筋肉を育てる運動法を保護者に教えたので運動力をつける子に育てる理解が深められた。 ・発達支援、障がい児保育の研修会に多く参加でき保育実践につなげられた。 ・アレルギー食の間違いのないよう気を付けられどの子も意識して実行できた。 ・生活力、知力を高めるねらいで関わったので、考えて行動できる子を育てられバランスのとれた保育、教育ができた。 ・行事や保育で使用する音楽をＣＤ作成したりしてスムーズに音楽リズム行事ができた。 ・子どもが弾きやすい音域や運指の新しい階名唱の楽譜を編集したり、リーダーとして年長イベントに全部付き添った。 絵本の読み聞かせ ・図書館からも本を借りたりしてたくさんの読み聞かせをしたので、絵本を自ら読める子が増えた。 ・年長の音読は、スラスラ読めるようになっていった。 ・考えや思いをききとることをしっかりしていった。会話力が育ち、生活発表力が育った。 ・毎日絵本を読み聞かせができた。子どもからのリクエストに応じ、いろいろ読んでやれた。 ・文字への関心を高められ、物語、図鑑も読んだり、よく見たりするようになった。 業務の手際をよくする ・園長への連絡をとったり相談できたり、勤務時間を守ったりしてしっかり業務をとることができた。 ・10 分前に出勤し、ゆとりをもってスムーズに仕事がこなせた。 ・勤務時間内に仕事を済ませ出勤就業時間をしっかり守った。 ・通勤ラッシュ時は事故のないよう時間に余裕をもって落ち着いて運転したので事故なく通勤できた。 ・業務に支障のないよう手洗いうがい、マスクなど感染予防ができた。 ・朋に配られた「遊具の使い方ルール」を熟読し正しい使い方の指導ができた。 ・おやつや給食で、テーブルに塩素をスプレーで噴射するとウイルスが巻き上がるのでフキンで拭くようにした。 ・睡眠不足は翌日の判断不足に影響するので家事と仕事の両立を段取りよくするようこなしていった。 ・職場に迷惑をかけないように、健康管理をしっかりして勤めることができた。 ・除去食、代替食、食中毒をおこさぬよう、間違えなくできた。 自らの健康を考え、管理する ・インフルエンザや風邪などで欠勤することなく健康管理ができた。 ・１．２歳児.１つの保育室に９名で保育しているので、保育技術を伝え合って向上できた。 ・未満児は特に、生活教育に力を入れ指導を充実したので大変自立成長の見られる保育ができた。 ・ランニングをして、健康管理をしていた。 飼育、栽培 ・季節の花を育てたり野菜（玉ねぎ、芋、ﾄﾏﾄ､ｷｭｳﾘ、ﾅｽ、大根、もち米、大豆）を植えて育ったら収穫して餅つきして食べたり、石焼き芋をしておいしく食べる。食育をしっかりできた。 ・花抜き、水やりをして花を育て園庭も美化が保ててﾊﾟﾝｼﾞｰ、ﾁｭｳﾘｯﾌﾟなど観察して日々楽しめた。

2	怪我事故防ぎ健康で安全の保育	1. 事故のない保育を過ごせるようにする。・責任ある安全教育の為の意識で言葉をかける。“発達”と“個性”と“育ち”の違いをどの場面でも理解した指導をしていく。誉める保育。 2. 無事故運転にする為①“焦った気分でしない”②“安全呼称・指差し声出し確認の実行”③“車の不調をすぐ報告”④交差点の右左折、巻き込み事故防止⑤横断歩道手前最徐行⑥一時停止する登下車する幼児の弟妹、バックモニターで目視、発信合図実行⑦走行中車内の安全指導 3. ①除去食を間違えないようにする②食中毒を起こさない食材の管理選択③4 人の担当(給食室)のチームワークで円滑に安全でおいしい昼食を作る④調理士栄養士は“健康体”を守る。 4. 教師と保護者の健康への理解を伝える・各クラスの子供の健康状況を知る・研修会積極的参加、消毒除菌。 5. 自らの身体の健康を考え管理し精神的、身体的に整え良く睡眠をとる。事故を起こさない。 業務能力を手際よくする業務に支障のないようスムーズに行う。自己の“問題要件”“体調の不調”は園長に報告。 園長への連絡をとり相談、現状を伝える。・病院にかかったりして心も身体も健康的に伸び伸びと安心して業務に専念できるようにする。・勤務時間を守る。	怪我・事故防止 ・マニュアルを基に事故の無いよう見届け大きな事故にならなかった。 ・全体の見えるところにいて、目離しせず事故のない保育をした。 ・新しいジャングラミングの総合遊具や高さのある登降棒など安全な遊び方が指導できた。 ・11 月 12 月と手洗いうがい指導をしたりマスクをさせ、看護教諭がクラスをまわって集合して手洗い指導したので、インフルエンザ予防の指導ができ、学級閉鎖がなく、教職員もインフルにならなかった。 ・体調管理には特に努めた。 ・危険から守っていけるようすぐ助けられる距離にいるようにして見守りができた。 ・スクールバス添乗で、巻き込み事故防止のないよう運転士と一緒に確認した。運転がスムーズにいくよう子どもへの乗車マナーを助言し立ち歩き、大声で騒ぐことのないようにできた。 ・心肺蘇生法の園内研修を受け復習をしていった。 ・看護教諭と養護教諭の 2 人で保健だよりを作成していけた。 ・感染症流行期は塩素消毒をして拡大防止ができた。 ・欠席状況により感染予防をしていくことができた。 ・未満児は危険の予想ができないので危ないことの訳を話していくことを重視し、油断することなく危険回避を教えたので危険行為をしないよう先生の顔をみて思い出し止められるように育った。
3	生活教育・躾指導で「自立」が基礎基本の幼児教育	1. ①幼児教育の基礎・基本を身につけるためのモンテッソーリ研修をうける。②質の高い幼児教育者としての認識のレベルアップに努力する。 2. 遊具の指導のあり方、指導の狙いをしっかり理解し幼児指導のぶれがない保育指導ができるようにする。指導内容をオールマイティに理解を深める。	自立・生活教育の指導 ・生活教育の基礎基本の教育を行い、しっかりした幼児教育ができた。 ・指導法のねらいをおさえてぶれない保育指導ができた。 ・できたところを褒め認めると自信をもってできるようになるので保護者に伝えると共感して育てられた。

本園の教育に関する保護者のアンケート結果

下記に、保護者の“本園の教育に関するアンケートの評価”と“ご記入内容”を御報告いたします。「１人１人を丁寧に、良い教育方法でよかった」と、保護者の多くの方から、高く評価下さった方がほとんどでした。

今後も大事な１人１人の幼児期の教育を丁寧にかかわり重責を果たして参ります。

☆本園の教育に関するアンケート結果

園児数 303 人(内弟妹 53 人)

◎「良いと思う点」の記入いただいた内容です。

・子どもの自主性を大切にしてもらっている
・文字の指導をしっかりしてもらっている
・給食が充実している
・異年齢教育、教育方針に満足している
・体育指導が良い　・課外の園での習い事ができる
・１人１人に合せた教育が良い
・子どもの成長がよく分かる
・異年齢に合せた教育をしている
・のびのびと生活できている　・行事が充実している
・担任に教育相談ができる､安心できる、やる気を伸ばしてもらっている
・モンテッソーリ教材を使った学習の充実がよい
・先生方が丁寧に関わってくれている
・園庭がきれいで遊具が充実している
・防災意識が高い、地震、津波対策もできている
・手先を使って遊ぶ教育内容が良い
・言葉使いなど丁寧に指導して下さる
・挨拶､礼儀がしっかり身につけていっている
・季節の行事、日本の文化について教えてくれる
・勉強も運動もバランスよく育ててもらっている
・先生が信頼できる　・製作活動が充実している
・言語の指導が良い　・モンテッソーリ教育がよい
・英語など無理な指導をしていない
・生活指導が良い　・自然体験が良い
・トイレトレーニングを熱心に取り組んでくれる

1、教育目標や方針が良い しっかりみてもらっている	286 人
2、保育内容がよい	259 人
3、園だよりクラスだよりをよく書いてもらっている	267 人
4、家庭連絡簿が分かる	271 人
5、保育参観がよく分かった	267 人
6、園の雰囲気がよい	260 人
7、喜んで通っている	240 人
8、先生方と情報交換できている	261 人
9、子どもの相談・必要なことを話せている	271 人
10、給食内容がよく分かる・楽しみにしている	280 人

・園の設備が充実している
・こども園になって働きやすくなった
・かわいいバスでの通園が良い
・親の気持ちを共感してくれる
・子どもが楽しそうに通園している
・すべて満足している

以上ご記入いただきました。

学校関係者評価について

教職員で取り組んだ「自己点検・自己評価」に対して、学校評価委員からの評価コメントと評価について以下のとおり、学校評価委員の皆様より、評価いただきました。

1	評価目標①：保育技術の向上	評価
	評価委員 A 氏： 異年齢による集団教育による効果が表れていることが素晴らしい。	A
	評価委員 B 氏： 異年令で教育を行うことにより、お互いにブラッシュアップすることで子どもたちの成長に、強い影響を与えていると強く感じました。 モンテッソーリ教育について職員がよく共通理解をし、同じベクトルで子どもたちの教育に、携わっているのが素晴らしいと思います。 体を動かすことや体験活動を重視して、子どもたちの健やかな成長を願っている姿勢や熱意がよく伝わってきました。	A
	評価委員 C 氏： 保育の質の維持と向上のため、すべての先生方の努力がわかりました。 常に新しい知識と技術を取り入れ前向きであり、保護者代表として安心して登園させられます。	A
	評価委員 D 氏： 子どもに対する目離しは、非常に難しいが教師同士の声掛けをしっかり続けて頂きたい。 職員研修については、職員が個々に選んだ研修を受け後日、職員全員で共有することは非常に良い事なので今後も積極的に進めてほしい。	A

2	評価目標②：怪我事故を防ぎ健康で安全の保育	評価
	評価委員A氏： 園児の安全・あんしんには十分配慮されている。看護教諭と養護教諭の配置は理想的である。	A
	評価委員B氏： 子どもたちへの保健指導がとても行き届いており、インフルエンザによる学級閉鎖がなかったことに、とても感心しました。 スクールバス添乗においても、運転手としっかりと連携し、職員一丸となって事故防止に向けて取り組んでいることは、とても素晴らしいと思いました。 アレルギー対応についても、チームワークよく取り組んでいることがわかりました。 一人でも対応は見落としがある危険性が高まりますが、常に意識しているということで、安心して登園させることができると思います。	A
	評価委員C氏： 事故は気をつけても気をつけすぎることはないと言われる中で、小さなことでも先生方が、共有し気を配っていることがわかりました。	A
	評価委員D氏： 健康管理については手洗い・うがいの強化によりインフルエンザ欠勤がなかったこと素晴らしいと思う。特に教師の自己管理は大事であるので今後も継続して頂きたい。 小中学校においては、コロナウイルスのこともあり、感染予防を強化してインフルエンザの感染が減ったとのことも聞いているので、生徒・保護者の意識も高めて更に頑張って頂きたい。 ゆたかこども園の健全な身体づくりは、非常に評価できるところであるので、頑張って頂きたい。	A

3	評価目標②：生活教育・躾指導で「自立」が基礎基本の幼児教育	評価
	評価委員A氏： 生活活動やしつけについては、親であっても難しい時代となるなか、「自立」の度合や生活習慣を身につけることは難しい家庭もある。	A
	評価委員B氏： 「自立」が基礎基本の幼児教育ということが、よくわかりました。 そのことをしっかりと意識して全職員が取り組み、素晴らしい成果ができていると思います。	A
	評価委員C氏： 保護者の知らない所で常に先生方が、質を高めるための努力されていることがわかりました。	A
	評価委員D氏： モンテッソーリ教育による身体面・社会面・情緒面・認知面を発達させることにより、コミュニケーションや自分でやり遂げるまた目的をもって活動する能力をのばしていただけることに期待をしています。	A

評価段階（A・B・C・Dの4段階評価　）

その他、評価委員からのご意見

評価委員 A 氏・B 氏：　特記事項なし
評価委員 C 氏： 知育・徳育・体育・食育、子どもの育ちに大切な四育のすべてに、十分に力を注いでいることに感謝いたします。
評価委員 D 氏： 毎年計画を出し評価をしていることは、非常に評価できる。P(Plan)計画・D（Do）実行・C(Check)・A(Action)改善の PDCA サイクルがうまく機能していると思います。 現在では O(Observe)観測・O(Orient)方向性の決定・D(Decide)判断をして再度観察にもどる事が、大事であるのでやってみるのも良いかもしれない。 園長にしっかり連絡を取り、相談し判断を仰ぐことがしっかり出来たとの事で、さらなる徹底を望みたい。 保護者さんとも連携もしっかりとられており評価できる。 現在、コロナウイルスの感染防止で国難状態にあり、教育の現場では様々なご苦労もでてくると思いますが、将来を担う子供たちために、ご努力願いますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上